

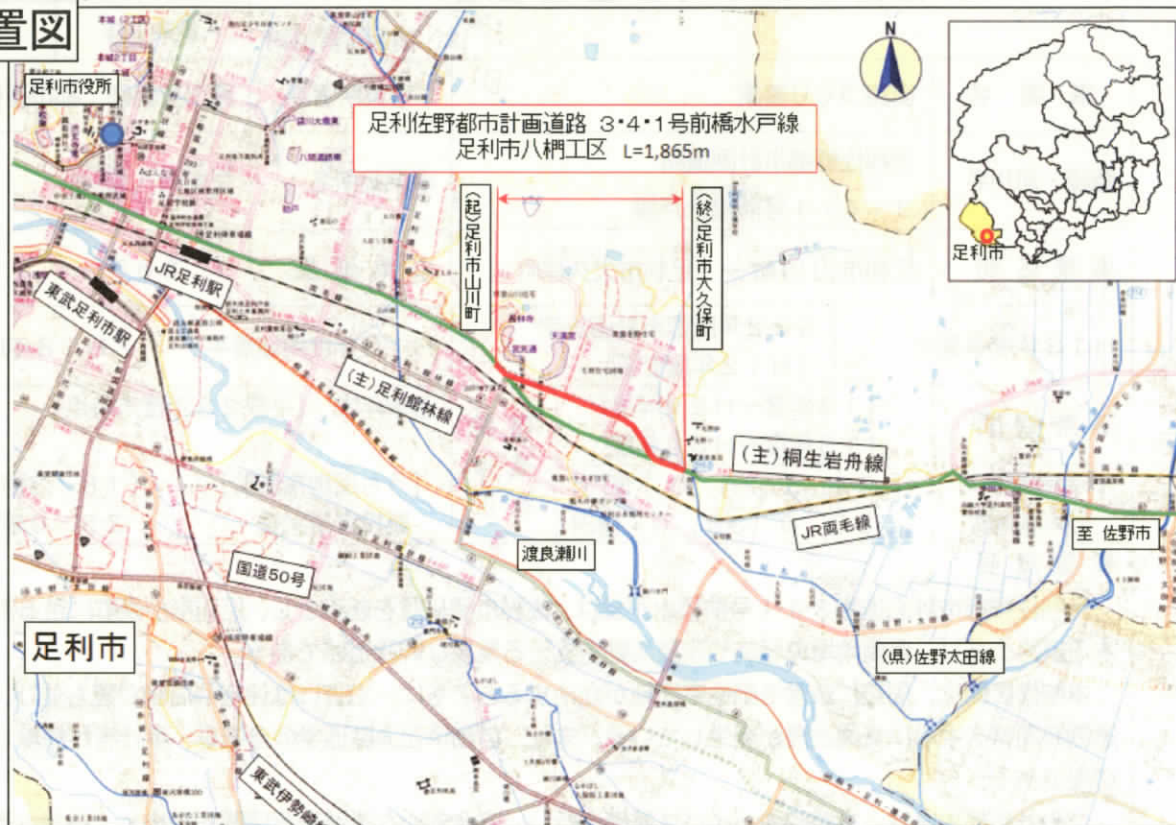
街路事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

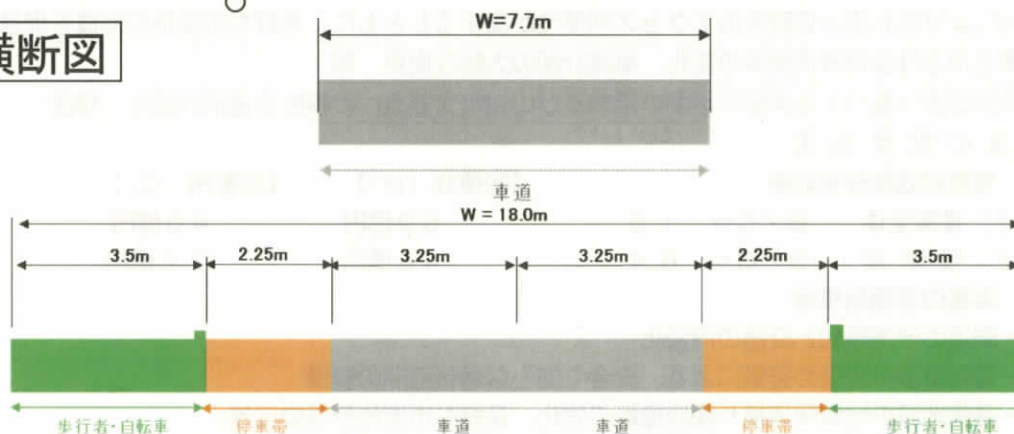
街路事業の再評価概要書			番号	1
			事業主体	栃木県
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課
路線・河川名	足利佐野都市計画道路 3・4・1号前橋水戸線		事業箇所名	あしががしやつくぬぎちよう 足利市八柵町
事業区間	あしががしやまがわちよう 足利市山川町～ あしががしおおくぼちよう 足利市大久保町		事業延長	1,865m
H13年度事業化	S32年度都市計画決定 (H12年度変更)		H13年度用地着手	H18年度工事着手
事業期間	(H13年度～H29年度) H13年度～H34年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成28年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[21.5(21.0)億円] 33.0(31.0)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[18.3億円] 25.0億円
事業概要				
<p>足利佐野都市計画道路3・4・1号前橋水戸線は、佐野市関川町を起点とし、足利市小俣町に至る都市の骨格を形成する道路であり、県南地域の経済や産業活動を支える重要な幹線道路である。</p> <p>本整備区間は、周辺に県営毛野住宅団地が立地するとともに、沿道には住宅や店舗が建ち並び、交通量が多く、通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生している。また、自動車と通勤通学の自転車・歩行者が錯綜し、安全の確保が必要である。</p> <p>このため栃木県は、本路線のバイパス整備を行い、安全安心な道路通行空間を創出し、円滑な通行を確保する。これにより足利市と佐野市のアクセス利便性が高まるとともに、良好な市街地の形成を促進する。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化、事業計画の大幅な変更 等				
都市計画法に基づく事業認可期間の延伸及び山川町交差点への横断歩道橋の設置（移設）				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
			【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
(1) 事業全体			B/C= 1.5	59億円
(2) 残事業			B/C= 6.4	48億円
			40億円	7.4億円
② 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・現道の渋滞緩和と交通の円滑化 ・自転車歩行者道の整備による、安全で安心な通行空間の整備 ・県南地域の地域間連携や物流機能の強化、良好な市街地形成の促進。 				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・市道福富川崎通りから市道鷺木町27号線までの区間(0.7km)は、平成21年度に供用した。 ・残る区間(1.2km)については、用地の取得及び工事を推進している。 				
② 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> ・今後は残る区間の用地の取得及び工事を推進し、平成34年度を目標に全線供用を図る。 				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用し社会的コストを低減 ・当該工区の建設発生土を他工事に再利用し社会的コストを低減 ・下水道工事との同時施工による、掘り返し工事の削減 				
② 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・すでに大部分の用地を取得し、一部バイパス部を供用しており、本計画が最適である。 				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所（位置図・概要図）

位置図



標準横断面図



概要図





写真1：現道の渋滞状況（市道福富川通りとの交差点付近）



写真2：現道の道路状況（八柵町地内）



写真3：バイパス箇所供用状況（八柵町地内）